

日本農業新聞



「天下の台所」に 自慢の品ずらり

大阪本場で
青果見本市

種苗会社と全国の主要な卸売会社で構成する青果種研究会は9日、大阪市中央卸売市場本場で品種見本市を開いた。

「天下の台所・大阪」をテーマに種苗会社ら19社が21品目67品種を、卸売会社やJA関係者らに紹介した。

季節の食材として、スイカ、メロン、トウモロコシ……..
スイカの新品種に見入る市場関係者(9日、大阪市で)

コシを重点品目に取り上げ、食べ比べコーナーを設置。8品種がそろったスイカは、種苗会社が多い奈良県内からナント種苗が「サマークリーム」、大和農園が「三男坊」、萩原農場が「祭ばやし777」などを出展した。メロンも並び、来場者は一つ一つ味を確認していた。タキイ種苗が加工業務用に適した寒玉系キヤベツ「おきな」をPRするなど、実需が求める品種の展示もあった。

この他、JA大阪泉州の協力で水ナスなど「なにわの伝統野菜」が展示され、注目を集めた。